

地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、西米良村をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。



自然災害に備えて

災害時に最も頼りになるのは家族です。家族そろって防災について話し合しましょう。

1 家族一人ひとりの役割分担

火の始末の係、お年寄りや乳児などの安全確保の係、非常持ち出し品の係など、家族一人ひとりの役割分担を決めよう。

2 家族間の連絡方法

災害はいつ起こるかわかりません。災害用の居場所を伝える方法を考えましょう(災害用伝言ダイヤルの活用など)。

3 避難所の確認

自宅、学校、勤務先から避難所への最も安全な経路と、家族全員が落ち合える場所を決めましょう。

4 初期消火の方法を覚えましょう

消化器の置き場所や使い方を確認しましょう。

5 家の内外の安全チェック

家屋の耐震化、家具などの転倒防止策、家の中や外の整理整頓をしましょう。

6 非常持ち出し品・備蓄品のチェック

非常持ち出し品・備蓄品の食料や飲料水は賞味(消費)期限があります。定期的に確認しましょう。

7 家庭内備蓄品は「ローリングストック」で

普段の食事に利用する食材を多めに常備して、製造日の古いものから消費し、消費した分を新しく買い足し、いざというときのために備える方法です。



非常持ち出し品チェックリスト

避難が必要になった場合に備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。リュックサックなどにまとめて、いつも持ち出せる場所に保管しておくことで良いでしょう。

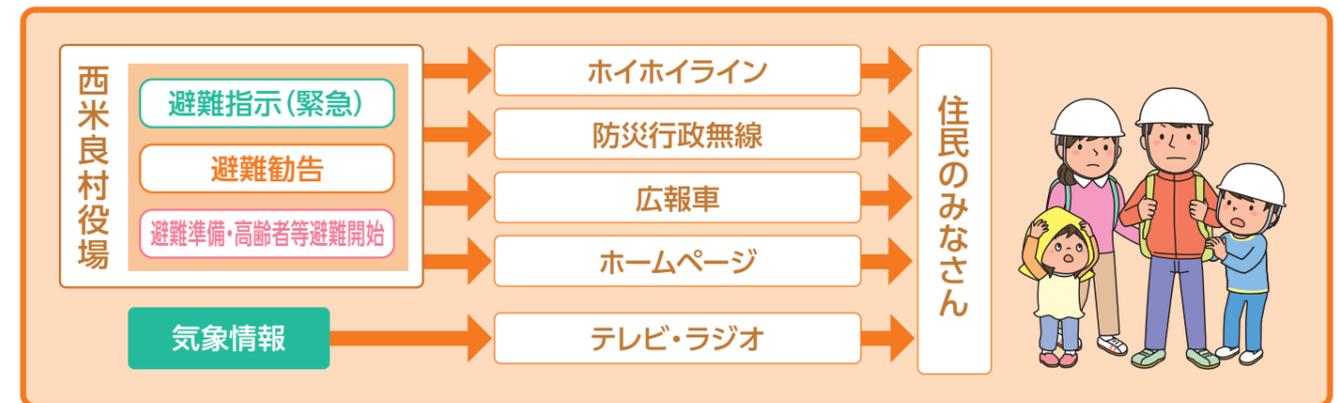
食品・水	救急・安全関係	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(500mlペットボトル程度) <input type="checkbox"/> 乾パン・クラッカー・缶詰など、火を通さなくても食べられる物 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日頃から、7日分の食料と飲料水を、非常備蓄品として常備しておきましょう。	<input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) <input type="checkbox"/> 救急医薬品(ばんそうこう・傷薬・包帯) <input type="checkbox"/> 病人やお年寄りの常備薬 <input type="checkbox"/> マスク、体温計、消毒液	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 権利証書 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> クレジットカード類
日用品	衣類など	その他
<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 乾電池など <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手	<input type="checkbox"/> 洗面用具(歯ブラシ・石けん) <input type="checkbox"/> ほ乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> メガネ

避難情報の種類ととるべき行動

避難情報等 (西米良村が発令)	警戒レベル	防災気象情報 (気象庁が発表)	とるべき行動
災害発生情報	警戒レベル5	大雨特別警報	すでに災害が発生している状況です。この段階では安全な避難が難しい場合があります。空振りをおそれずに、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終えましょう。
避難指示(緊急) 避難勧告	警戒レベル4	土砂災害警戒情報	いまずぐ安全な場所へ全員避難。 速やかに指定避難所に避難しましょう。指定避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル3	大雨警報 洪水警報	高齢者や要介護者等は避難。 高齢者、障がいのある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル2	洪水注意報・大雨注意報等	ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
	警戒レベル1	早期注意情報	最新の防災気象情報などを確認しましょう。 災害への心構えを高めてください。

情報伝達の経路・メール配信サービス

避難勧告、避難指示は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



災害時に支援が必要な方について

高齢者や障がいのある方、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々など、災害時に何らかの支援が必要な人々に対しては、地域で協力しあいながら、安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人	肢体の不自由な方(車椅子)	目の不自由な方	耳の不自由な方
<ul style="list-style-type: none"> ● おぶって安全な場所まで避難する。 ● 複数の介助者で対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 階段では2人以上の支援が必要。上りは前向き、下りは後向きにして移動する。 ● 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、背負って避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 声をかけ情報を伝える。 ● 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽くもってもらい、半歩前をゆっくり歩く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。 ● 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。